

『起業・ビジネスモデルワークショップ』を開催しました

2025 年 10 月、野村證券株式会社の酒井様をお迎えし、『起業・ビジネスモデルワークショップ』を実施しました。インバウンドをテーマに、8 グループが課題解決のための多様なビジネスモデルを提案しました。 *インバウンド:訪日外国人旅行

生徒の感想（一部抜粋）

- ・自分たちは誰のどんなニーズに応えたいのか、どんな結果にしたいのかを明確にすることが、ひらめきを生むためのヒントになると感じた。
- ・探究活動でもひらめきが必要になる場面が多いので、今回のように付箋を使って状況やアイデアを言語化してまとめる方法を活用したい。
- ・膨大なテーマよりも、身近なところからニーズを探した方が共感を得られやすいとわかった。
- ・チーム内で意見を、さまざまな視点から良い点、改善点を見つけ、どんな小さな意見でもとにかく出し、突き詰めていくのが大事だと気づいた。
- ・今回自分たちの案を作ったことで、実現可能なのか、利益は出るかなど具体的に話し合うことができとても勉強になりました。今後の探究活動でも、今回の考え方を検証方法を考える参考にしていきたいです。
- ・課題を解決するためには、どういった工夫が必要かを考えることはもちろん、対象やニーズをはっきりさせることで工夫の方向性が定まり、考えやすくなったり説得力が増したりと、企画のプロセスを体感するとともに、どういった工夫が誰にどのように刺さるのかなどを学ぶことができた。
- ・これから AI の進歩も進むけど、人間でしか作り上げられない想像力で社会を作っていきたいと思った。

今回のワークショップを通して、参加生徒は起業やビジネスを「遠い世界の話」ではなく、「自分にもできること」として捉え直したようでした。この経験を今後の探究活動に生かしたいという声が多く聞かれました。

